

正徳館 だより



県立正徳館高等学校
長岡市与板町東与板 173
TEL0258-72-3121
令和8年7月25日発行

学校長より

『一学期を終えて』

校長

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に格別のご高配を賜り感謝申し上げます。今年度一学期の学校行事の実施状況についてご紹介いたします。

【四月】始業式・入学式（七日、新入生十四名入学、全校生徒四十七名に）、対面式・部活動紹介（八日）、地域貢献活動（楽山苑清掃活動）、交通講話（二十四日）

【五月】生徒総会（十二日）、中間考査（十三日～十五日）、オープンスクール・PTA総会・後援会総会（十六日）

【六月】避難訓練（二日）、スポーツフェスティバル（十二日）、保健講話（二十三日）、期末考査（二十五日～三十日）
【七月】終業式（二十四日）

このほかにも、学年行事・授業として三年生の職業講話、一年生の「与板地域を知る授業（地域探究学習）」を行いました。

本校は、スクールミツションの一つとして「地域に学び、地域とつながり、郷土を愛し、郷土を支える人材を育成すること」を掲げています。そして、それを基に「磨かれた知性と、健康で情操豊かな人間性を保ち、規律と秩序を重んじ、社会の発展に貢献できる有為な人材を育成する」という教育目標を掲げています。今後とも十月に予定されている二年生のインターンシップ、その後の文化祭（正徳館フェスティバル）等の行事を通じ、豊かな人間性を育て、地域社会に貢献する人材の育成に力を注いでまいります。少人数ではありますが、学校での学びの中で、生徒一人一人が自分の目標を持って自ら考え行動す

る姿勢を大切にしていきたいと思えます。地域も含めてPTA・後援会の皆様には、今後とも生徒が安心・安全で充実した学校生活を送るため、ご協力をよろしくお願いいたします。

生徒活動報告

『正徳館高校に入学して』

一年一組 代表

僕が正徳館高校に入学してから約2ヶ月が経ちました。今回は、この2ヶ月の間に起こったことを皆さんに紹介したいと思います。

まずは入学式です。知らない人ばかりの中で、勇気を出して後ろにいた人に話しかけたところ、気が合って仲良くなることができました。これが僕にとって高校で初めてできた友達です。

入学式が終わって数日が経ち、いつものように友達と話している、先生から「みんなでレクリエーションをします」と言われました。レクリエーションとは何だろうと思っていたら、集団での遊びでした。最初は少し嫌だなと思っていましたが、やってみると意外と楽しく、みんなとの仲も深まりました。しかし、ある日、喧嘩が起きてしまいました。原因は、僕の最初の友達でした。それまで仲が良かったグループが、二つのグループに分かれてしまいました。その後しばらくは、それぞれのグループで過ごす日々が続きました。1年生は毎週金曜日に町歩きがあります。そして最後の町歩きの日、なんと最初の友達が仲直りをしてくれました。僕はとてもホッとしました。たった2ヶ月の間に、こんなにも色々なことが起きるなんて、何かの運命のように感じます。さらに高校生活が楽しくなりそうです。今後みんなと仲良くしながら、高校生活を満喫していきたいです。



『一学期を終えて』 二年一組 代表

私は二年生の一学期を終えて、有意義に過ごせたと思いました。

一年生の一学期では、授業をしつかり受けているとは言えないくらい授業態度でした。その結果、補習を受けることになり、夏休みに学校に行く羽目になってしまいました。なので夏休み明けから授業態度を改め授業をしつかり聞き、意欲的に取り組みました。その結果、その後は補習も受けずに一年を過ごせました。そして二年生では成績も上がり、テストでもいい点をとれました。これが続けてこのまま頑張りたいです。

また、スポーツフェスティバルも頑張りました。今回は先輩になったので、一年生のことを引っ張りながら楽しめました。他学年ともたくさん交流して、紫団として優勝を勝ち取ることができてうれしかったです。

この一学期は全体的に努力することができた期間だったので、これからも続けたいです。



『スポーツフェスティバルを 振り返って』

三年一組 代表

今日、赤軍の団長を務めさせていただきました。何かのリーダーになる経験はあまりなかったのですが、自分が本当にやれるか心配したが、最後までしっかりとやり遂げられて良かったです。三年生は自分を含めて最後の体育祭だったので、どのようにしたらみんなが楽しめるのかを考えました。そのために頑張ったことが二つあります。

一つ目は、新たな種目を入れたことです。主に障害物競走を変えました。全校生徒がより楽しめる内容になるように工夫しました。

二つ目は、一人一人が活躍できる体育祭を目指したことです。それぞれの競技で誰もが達成感を得られるように考えました。

当日はどの団もみんな最後まで楽しんでくれて頑張ってくれた甲斐があったなと思いました。みなさんのおかげで最後の体育祭を心から楽しむことができました。赤軍の皆さん、惜しくも二位でしたが最後まで団長についてきてくれてありがとうございます。



新任の先生紹介

先生方への質問項目

- ① 前任校
- ② 担当教科
- ③ 担当部活動
- ④ 趣味
- ⑤ 思い出に残っていること
- ⑥ 生徒に一言



校長先生

- ① 直江津中等教育学校
- ④ 最近日帰り温泉めぐり・オシックスの応援（悠久山球場やエコスタに年間十回くらい行きます。推しの選手を探し中。）

⑤ 次男が生まれる時、出産に立ち会ったこと。神々しく光り輝いて生まれてきた瞬間は、今でもはつきりと脳裏に焼きついていきます。

⑥ 時間を大切にすること。人数は少ないけど、正徳館高校で学ぶこの時間を大切に、自分の夢に向かって頑張りたい。

目的を持って毎日を過ごしたい。

自分と仲間を大切にしよう。高校時代の友達は一生涯の友達。

教頭先生

- ① 柏崎工業高等学校
- ④ モータースポーツ観戦
- ⑤ 中学3年生の時に東京の国立競技場で陸上の全国大会があり出場したことです。
- それまで、国立競技場での様々な世界大会をテレビで観戦したことはありましたが、自分がその場に初めて踏み入れて競技をした時の興奮は今でも忘れられません。ちなみに今は東京オリンピックに合わせてスタジアムは新しくなっています。
- ⑥ 若い時こそ自分自身に投資をしてください。特に今は多くの情報が手軽に入手できますが、実際の物を見た

り、その場の空気を感じることはとても大切です。物としては手元には残りませんが経験や、その場で感じた事は何物にも代えることはできません。ぜひ高校生のうちにしかできない体験をしてください。

数学科教諭

① 柏崎高校

② 数学

③ 野球部、華道部

④ 楽器演奏、庭の芝刈り

⑤ 高校生のときに行った、修学旅行が思い出に残っています。

クラス旅行だったため、他のクラスは関西や東京方面に、自分のクラスだけが名古屋に行きました。関西や東京がいいなあと最初は思ったのですが、名古屋について調べて、実際に走ってみると、名所も迷所もあっていい思い出になりました。

⑥ 高校は一年間で千時間以上授業を受けます。せっかく高校に来ていたので、毎日できれば毎時間、1つでも「わかった」「できた」など得るものがあるといいなと思っています。そのためには皆さん自身の気持ちも大事です。たとえ難しそうに感じても、様々なことに前

向きに、取り組んでください。

数学科教諭

① 分水高校

② 数学

④ 読書

⑤ 大学生の時の友人といろんな場所に旅行に行ったことです。私はその頃はまだペーパードライバーだったので長距離、長時間を運転してもらいました。冬にスキー場に行ったときは、大雪で交通止めになり宿から帰れなくなりました。今ではいい思い出です。

⑥ 広い校舎なので教室配置も余裕があり、ゆったりとした学校だと感じました。対して、生徒数は少ないので、授業中も様子がわかりやすく教えやすいです。皆さんの高校生活が有意義で楽しい時間になれるように応援したいと思います。

